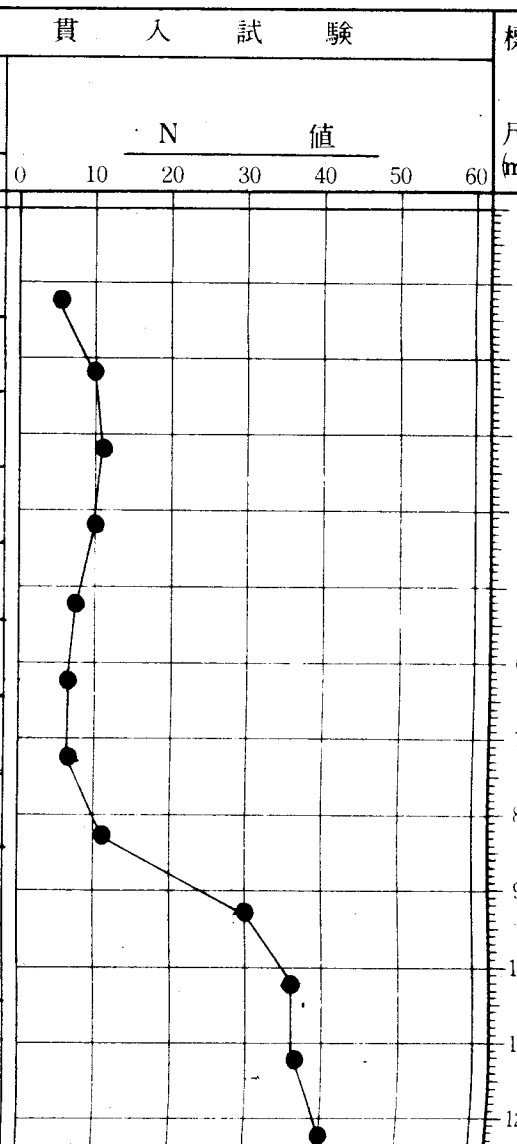


地 質 柱 状 図

孔 番		No. 1		調 査 名		千葉市港鏡輪ホーリング・第3コーナースタンド新築工事地質調査																				
発注者名		千葉市港鏡		調 査 地		千葉市行天町 4-1																				
調査期間		48年 4月 6日 ~ 48年 4月 7日		ボーリング法		ロータリー・ボーリング		総掘進長		20.45 m		孔 径		65 mm												
標 高		m [基準:]		実施者名		責任者		調査員																		
月 日	標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	地 質 記 号	地 質 名	色 調	コンシステンシー 相対密度および	記 事	孔内水位 (m)	試料採取位置 標本番号および	貫入深度 (m)	N 値 (回/cm)	10cm毎の 打撃回数			N 値						標 尺 (m)			
														10	20	30	0	10	20	30	40	50		60		
4/6	0								砂よりなる コンクリート片・ガラスピン 石灰片混る。	GL 2.50 M ▽	1.15	6/32	2/11	2/11	2/10									0		
	1	1.10	1.10		X	埋土	黄褐					1.47												1		
	2								粒度よくそろった 雲母片少し混る。 含水多し。			2.15	10/30	3	3	4								2		
	3								僅かにシルトを含む。 3.2m附近より有機質 シルト分が増え、色調 変る。			2.45													3	
	4											3.15	11/30	3	4	4									4	
	5	4.90	3.80			細粒砂	黒褐	中				3.45														5
	6								含水中位。 有機物・腐植物 を多量に含む。			4.15	10/31	3	3	4/11										6
	7											4.46														7
	8	7.70	2.00			腐植土	黒	緩				5.15	8/32	2/9	3/12	3/11										8
	9								10m附近まで粘土と 不規則なブロック状 2"夾む。 含水中位。 粒度、不整。			5.47														9
	10											6.15	7/30	2/8	2	3/12										10
	11											6.45														11
12	11.60	3.90			細粒砂	茶褐	密			7.15	7/32	2/9	2	3/13										12		
13								含水多し。 処々に少量の粘土 混る。 雲母片少し混る。		7.47														13		
14	13.80	2.20			中粒砂	暗灰	密			8.15	11/30	3/9	4/11	4/11										14		
15								含水多し。 処々に少量の粘土 混る。		8.45															15	
16								含水中位。 雲母片少し混る。		9.15	30/30	8	10	12											16	
17										9.45															17	
18	18.50	4.70			微細砂	暗灰	中			10.15	30/30	10	12	14										18		
19	19.20	0.70			凝灰質 細粒砂	黄灰	密	含水小。 火山灰質混り2"固結12"3		10.45															19	
20	20.45	1.20			細~ 中粒砂	黄灰	密	含水中位。 雲母片混る。 白色粘土を少し夾む。		11.15	37/30	10	12	15											20	
21										11.45															21	
22										12.15	40/30	10	13	17											22	
23										13.15															23	
24										13.45	31/30	10	12	17											24	
25										14.15															25	
26										14.45	29/30	7	10	12											26	
27										15.15															27	
28										15.45	27/30	7	9	11											28	
29										16.15															29	
30										16.45	40/30	11	13	18											30	
31										17.15															31	
32										17.45	43/30	11	14	18											32	
										18.15																
										18.45	(51)															
										19.15	50/29	20	15	15/9												
										19.44																
										20.15	36/30	9	14	16												
										20.45																



調査件名 千葉競輪場計算池及び自衛警備員詰所地質調査委託

地質柱状図 (No. 1)

調査場所 千葉市栄天 4-1-1

標高 4.0 M ± 0.10 M

調査期間 昭和 54 年 4 月 16 日 ~ 54 年 4 月 17 日

* 位 (自然・孔内) : 0.1 M

現場担当者

月 日	標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	地 質 記 号	色 調	地 質 名	観 察 記 事	相 对 密 度	標準貫入試験					採取 深度 (m)		
										深 度 (m)	打 撃 数 回/cm	10cm 毎の 打撃回数 回 (10cm)				- N 値 - (回)	
	0	4.30					表土	0.30m 以下は砂									
	1	4.50	0.70	0.70			表土		中	1.15	5	1/2	2				
	2						表土		軟	2.15	3	1/2	1/2				
	3						表土	腐植物の混入 4.00m 以下の粘質分 多し。	中	3.15	7	2	3/4	1/1			
	4	4.62	4.75	4.05			表土	全般的に粘質分 下がる。	軟	4.15	3	1/2	1/4	1/4			
	5	5.22	5.50	0.65			粘土質砂	粘質分多し。	中	5.15	6	1/2	2	1/2			
	6						細砂		中	6.15	12	1/2	4	5			
	7						細砂		中	7.15	16	1/2	5	6			
	8						細砂		中	8.15	18	1/2	5	7			
	9						細砂		中	9.15	29	1/2	7	9			
	10	6.32	6.45				細砂	層中に砂粒が 混入	中	10.15	44	1/2	11	12			
	11						細砂	又、シルト帯が 混入	中	11.15	4	1/2	1	1			
	12						細砂	含水少、日暮時 灰黄色を呈し 深層に於ては 含水中位に成る。	中	12.15	50	1/2	15	19			
	13						細砂		中	13.15	50	1/2	15	19			
	14						細砂		中	14.15	44	1/2	16	19			
	15						細砂		中	15.15	50	1/2	15	19			
	16						細砂		中	16.15	50	1/2	22	25	1/2		
	17						細砂		中	17.15	50	1/2	25	28	1/2		
	18						細砂		中	18.15	46	1/2	14	12	20		
	19	18.77	18.90	13.50			細砂		極	19.15	25	1/2	7	10			
	20	19.57	19.70	0.80			細砂	粘質分多し、 含水少、日暮時 灰黄色を呈し 深層に於ては 含水中位に成る。	極	20.15	50	1/2	15	19	1/2		
	21	20.38	20.41	0.71			細砂		極	21.15	26	1/2	15	19	1/2		

調査件名 千早競輪場計算セメント自衛警備員詰所地質調査等記

地質柱状図 (No. 2)

調査場所 千早市分天 4-1-1

標高 — 0.040 M

調査期間 昭和 54年 4月 16日 ~ 54年 4月 17日

水位 (自然・孔内) . 1.0 M

現場担当者

月 日	標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	地 質 記 号	色 調	地 質 名	観 察 記 事	相 対 密 度	標準貫入試験										採 取 深 度 (m)		
										深 度 (m)	打 撃 数 回/cm	10cm毎の 打撃回数			— N 値 — (回)							
										10	20	30	40	50								
	0	0.040	0.20	0.20																		
	1	0.240						腐植物質の塊状物あり 口へ入りやす。	中	2	1.15	5	10	18	20	29						
	2							含水あり。	軟		2.15	6	11	19	19	15						
	3							0.50m以下含水あり及び 粘質成分が少なくあり。	軟		3.15	4	11	12	21							
	4	4.44	4.40	4.20			茶褐色	口へ	極軟		4.15	2	11	12								
	5	5.19	5.55	1.15			茶褐色	粘土質口へ	中		5.15	6	18	22	3							
	6						黄褐色	細砂	中		6.15	13	4	4	5							
	7										7.15	13	4	4	5							
	8										8.15	14	4	5	5							
	9							細砂	中		9.15	22	10	11	11							
	10							含水あり シルト帯に少量 粘土	極密		10.15	32	10	10	12							
	11							含水あり シルト帯に少量 粘土	極密		11.15	49	10	17	22							
	12	12.19	12.15				黄褐色	細砂	極密		12.15	50	15	18	16							
	13							含水あり より深度へ水 帯あり。	極密		13.15	50	24	17	22	14						
	14								極密		14.15	50	20	22	28							
	15								極密		15.15	50	16	31	19	18						
	16								極密		16.15	50	17	28	27	17						
	17								極密		17.15	50	16	29	21	16						
	18								極密		18.15	50	20	24	26							
	19	19.09	19.05	10.50			黄褐色	細砂	極密		19.15	21	6	7	8							
	20	19.19	19.50	0.35			黄褐色	粘土質シルト	極密		19.45	40	6	7	8							
	21	20.89	20.45	0.95			暗褐色	細砂	密		20.15	31	7	11	12							
	22										20.45	40	7	11	12							

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調査名・調査地点 千葉競輪場食堂地質調査委託 標 高 GH=+0.153 m 調査年月日 57年 6月 4日 年 月 日

ボーリング孔：No. 孔内水位 GL-4.90 m 調査担当者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取							
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 さ m	打撃 回数 貫入量 cm	10cmごとの 打 撃 回 数			N 値						試料番号	深 さ m	採 取 方 法
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50			
	0.35	0.50	0.50	埋 土		As10cm、碎石5cm															
1							-1.15	4/33	1/1	2/13											
2							-1.78														
3						所々有機物含む 3m付近より含水 多くなる。	-2.15	4/32	1/1	2/12											
4					茶 褐	4m付近より粘性 強くなり黄褐色 となる。	-2.47														
5					黄 褐	5m砂分多少混る	-3.15	3/30	1/1	1/1											
6	5.35	5.50	5.00	口 砂			-3.45	4/30	1/1	2/2											
7						所々線状の微細 な炭化物片含む 6m,7m粘性土分 の含有多い。	-4.15	4/30	1/1	2/2											
8						粒子比較的均 雲母片混入。 やや不均質。	-4.45														
9					細 砂		-5.15	5/30	1/2	2/2											
10	9.35	9.50	4.00				-5.45														
11						所々に線状の微 細な炭化した植 物片が混る。	-6.15	7/30	2/2	3/3											
12						全体に均質であ るが粒子はやや 不均一で細砂分 の混入も多い。	-6.45														
13						径5~10mm程度 の小礫を所々少 量混入。	-7.15	12/30	3/4	5/5											
14							-7.45														
15							-8.15	15/30	5/5	5/5											
16							-8.45														
17							-9.15	17/30	5/6	6/6											
18							-9.45														
19							-10.15	41/30	8/13	20/20											
20							-10.45														
21							-11.15	50/27	15/18	17/7											
22							-11.42														
23							-12.15	50/26	15/17	18/18											
24							-12.41														
25							-13.15	50/18	22/28	8/8											
26							-13.33														
27							-14.15	50/19	18/32	9/9											
28							-14.34														
29							-15.15	50/8	50/8	/ /											
30							-15.23														

備 考:

試料採取方法の記号

- テニソン型サンブラー
- アンウォールサンブラー
- 貫入試験用サンブラー
- フォイルサンブラー
- × その他



ボーリング柱状図

調査名 千葉競輪場場内改修に伴う地質調査委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置	No. 1	北緯	35 37
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課	調査期間	昭和63年 9月17日～昭和63年11月20日	東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	仮B.M. m -0.59	角	180° 上 90° 下 0°	方
総掘進長	16.25m	度	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配
		鉛直	水平 0° 90°	使用機種
				試験機
				KR-100型
				ハンマー 落下用具
				ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験		試料採取 深 度 (m) 試料 番号 採取 方法	室内試験 進 月 日
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名 および結果		
板B.M.								0-0.2m アスファルト, コンクリート, 砕石, ローム地土								
-1.19	0.06	0.06		埋土	茶褐				1.15	1.30	1/20	1/5	7/5			P1-1
				ローム	茶褐			均質で軟らかい 含水量少, 粘着力中位	2.15	2.55	1/25	1/5	7/40			P1-2
-4.29	3.10	3.70		粘土質 ローム	暗茶褐			粘着力中位, 含水少し, 均質で軟かい。	3.15	3.50	1/21	1/4	7/55			P1-3
-5.39	1.10	4.80		砂質 粘土	"			均質で軟かく, 含水少, 粘着 力中位	4.15	4.45	1/20	1/0	7/30			P1-4
-6.27	0.90	5.70		砂質 粘土	"				5.15	5.45	2	2	2	6/53		P1-5
				細砂	茶 黄褐			粒子均質含水少, 中位で雲母片少量混入	6.15	6.35	3	4	4	14/30		P1-6
-9.39	3.10	8.80		細砂	茶褐			酸化鉄分を含み 含水少, 締っている。	7.15	7.45	4	4	4	17/30		P1-7
-10.29	0.90	9.70		細砂	茶褐			酸化鉄分を含み 粒子均質 含水大, 非常に締っている。	8.15	8.45	7	7	9	23/30		P1-8
				"	"				9.15	9.45	5	7	10	27/30		P1-9
-12.99	2.70	12.40		"	"				10.15	10.45	10	15	22	47/30		P1-10
				"	"				11.15	11.30	7	7	7	67/5		P1-11
				"	"				12.15	12.30	30	30	30	67/20		P1-12
				"	"				13.15	13.30	30	10	7	60/12		P1-13
				"	暗褐			均一の砂で, 含水大 非常に締っている。	14.15	14.30	25	25	25	60/10		P1-14
-16.84	3.85	16.25		"	"				15.15	15.30	40	20	3	60/8		P1-15
				"	"				16.15	16.30	20	25	25	60/10		P1-16

調査名 千葉競輪場場内改修に伴う地質調査委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置		No 2		北緯	35° 37'	
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課			調査期間	昭和63年 9月17日 ~ 昭和63年11月20日		
調査業者名	主任技師		現代人	コ定者	ボーリング責任者		
孔口標高	仮B.M +0.06 m	角	180°上 90° 180°下	方	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	26.25 m	度		使用機種	試験機 KR-100型	ハンマー	落下用具
				エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠度	記	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試料採取		室内試験 (月日)	掘進 (月日)
								深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	度		深	試験名および結果	深	試料採取方法		
1	-1.54	1.60	1.60	盛土	灰 / 茶褐		0~0.10m 鋪装 0.1~0.25m 碎石 0.25mより下部はローム埋土	1.15										
2				ローム	茶褐		2m軟かい 有機物少量混入する。	2.15	1	1	1	3/30						
3	-3.44	2.10	3.70					2.49	1/21	1/14	2/24							
4								3.15										
5				粘土質ローム	茶褐		粘土分を全般に混入して軟かい 4.5m付近より下部細砂少量混入する。	3.45	1	2/16	4/30		4.80			4.00		
6	-6.37	2.75	6.45					5.65					LLT			P2-1		
7								5.95	2	2	2	5/30						
8								6.75	3	4	5	7/30						
9				細砂	茶褐 / 黄褐		6m 粘土分全般にやゝ多く混入 砂の粒子は均一 8m 粘土分少量混入 9m 粒子均一、茶褐色の部分 帯状に狭む。 10m 色調茶褐、粒子均一。 11m 中砂混入する。	7.15	3	4	4	11/30						
10								8.15	4	4	4	12/30						
11								8.45	4	4	4	12/30						
12	-11.44	5.05	11.50					9.15	6	7	8	21/30						
13								9.45	6	7	8	21/30						
14								10.15	8	9	10	27/30						
15								10.45	8	9	10	27/30						
16				中砂	褐灰			11.15	13	16	18	47/30						
17								11.45	13	16	18	47/30						
18								12.15	21	24		69/30					P2-2	
19								12.35	21	24		69/30					P2-3	
20	-18.84	7.90	18.90					13.25	29	3/9		60/19						
21								13.44	29	3/9		60/19						
22								14.15	45	15/3		60/13						
23								14.45	45	15/3		60/13						
24				黄褐灰				15.15	60			60/9						
25								15.45	60			60/9						
26								16.15	31	29/7		60/17						
27								16.45	31	29/7		60/17						
28	-20.84	1.30	22.10	粘土混り細砂	黄褐灰		粘土不規則に少量混入する。	17.15	7	9	12	28/30						
29								17.45	7	9	12	28/30						
30								20.15	10	11	14	35/30						
31								20.45	10	11	14	35/30						
32								21.15	10	11	14	35/30						
33	-23.34	3.30	23.40	細砂	黄褐灰		21m 粘土分少量混入する。 22m 硬質粘土レンズ状に薄くはさむ。砂の粒子均一である。	21.45	10	11	14	35/30						
34								22.15	16	24	28	60/17						
35								22.45	16	24	28	60/17						
36								23.15	16	12	10	28/30						
37								23.45	16	12	10	28/30						
38								24.15	5	6	6	17/30						
39	-25.04	1.70	25.10	腐植土	黒褐		含水分少なく硬質である。	24.45	5	6	6	17/30						
40								25.15	60			60/18						
41								25.45	60			60/18						
42								26.15	60			60/18						
43	-26.14	1.15	26.25	細砂	黄褐灰		粒子均一で非常に密に締っている。	26.45	60			60/18						
44								27.15	60			60/18						
45								27.45	60			60/18						
46								28.15	60			60/18						
47								28.45	60			60/18						
48								29.15	60			60/18						
49								29.45	60			60/18						
50								30.15	60			60/18						

ボーリング柱状図

調査名 千葉競輪場場内改修に伴う地質調査委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置	No. 3	北緯	35 37
発注機関	千葉市建設局建築部営繕課	調査期間	昭和63年 9月17日 ~ 昭和63年11月20日	東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	仮B.M. -0.05 m	角	180°上 90° 180°下	ハンマー 落下用具
総掘進長	m	方	北 0° 270°西 90°東 180°南	ポンプ
		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	試験機
		使用機種		エンジン

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試験採取番号	採取方法	室内試験 (簡易程度)	欄
										深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深		試験名および結果					
1	-1.75	1.70	1.70	盛土	茶褐			0.05 m 舗装 0.05~0.25 m 碎石 0.25 m より細砂混りロームの埋土	1.15 1.45	1/2	1	1/3	3/30			P3-1	○			
2				ローム	茶褐			有機物少量混入 3 m 浮石粒含む。	2.15 2.45	1	1	2/4	3/30			P3-2	○			
3	-1.95	1.90	3.60					粘土分全般的に混入して軟かい、浮石粒含む。	3.15 3.45	2/3	2/11	2	4/30			P3-3	○			
4				粘土質ローム	茶褐			5 m より細砂若干含む。	4.15 4.45	1/7	1/13	2/30			P3-4	○				
5	-5.40	1.75	5.35					6 m 粘土分少量混入する。	5.15 5.45	2	2	4	8/30			P3-5	○			
6								7 m 粘土分少量含む。砂の粒子は均一	6.15 6.45	4	4	5	13/30			P3-6	○			
7				細砂	黄褐				7.15 7.45	5	5	6	14/30			P3-7	○			
8																				
9																				
10	-10.05	4.65	10.00																	
11					茶褐			10 m φ2~5%の小円礫を少量点在する。	10.15 10.45	11	13	14	38/30			P3-8	○			
12								11 m 色調黄褐色に変わる。非常に密に締っている。粒子不均一である。	11.15 11.45	12	22	24	58/30			P3-9	○			
13					黄褐			13 m 褐灰色に変化する。粒子不均一である。所々小礫点在する。	12.15 12.35	29	31/7		69/17			P3-10	○			
14				中砂				13 m 褐灰色に変化する。粒子不均一である。所々小礫点在する。φ2~5% 粒子不均一で非常に締っている。	13.15 13.35	22	38		69/17			P3-11	○			
15									14.15 14.45	33	27/6		69/16			P3-12	○			
16									15.15 15.35	36	24/6		69/15			P3-13	○			
17	-17.40		17.35		褐灰				16.15 16.35	39	21/4		69/14			P3-14	○			
18									17.15 17.35	24	36		69/10			P3-15	○			

